

# 環境・社会報告書 2013



日本飛行機株式会社

# ごあいさつ



取締役社長

**早野 幸雄**

「環境・社会報告書2013」の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は川崎重工グループの一員として、「カワサキグループミッションステートメント」に掲げるグループミッション「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」を継続的に実践・発展していくことを使命と考えています。

また、このために「企業の社会的責任」という観点から、具体的な行動目標に展開し推進していくことをCSR活動と位置付けています。

CSR活動の主要テーマである「環境」、「社会貢献」については、2012年度に策定した環境方針のもと、資源・エネルギーの有効利用、環境負荷の軽減等、継続的に地域を含めた環境保全活動に取り組んでいます。

事業活動の拡大・活発化は、ともすれば使用資源・エネルギーの増加を誘引し、東日本大震災以降重要視されている資源・エネルギーの有効利用、環境負荷の軽減等の推進を困難とする局面もあります。

しかし、当社は、環境保全・地域社会との共生を意識した事業活動を推進し、環境方針の基本理念の実現を目指してまいります。

## 環境方針

**基本理念** 日本飛行機株式会社は、航空宇宙の分野で製造と整備を核に高品質の製品・サービスを社会に提供する専門企業である、当社は、地球環境問題が次世代以降にも及び社会構成員総てに関わる最重要課題の一つであることを認識し、持続発展可能な社会の構築に向けて、あらゆる面で地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する。

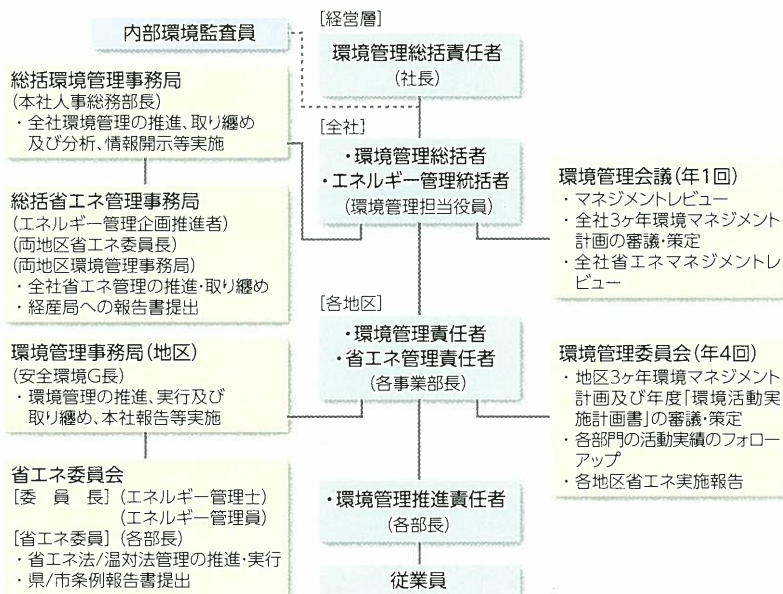
- 基本方針**
- 1.製品の研究、開発、設計、製造、修理を中心とした事業活動が地球環境に与える影響を的確に捉え、使用資源・エネルギーの有効利用、環境汚染物質並びに廃棄物の分別・処理の適切な管理及び削減を通じて地球環境の保護と地球環境汚染の予防に努める。
  - 2.事業活動に当たっては、環境に影響を及ぼす活動、製品及びサービス(以下、環境側面と呼ぶ)に関連する国際条約、法律、規則及び協定等を遵守する。
  - 3.全社の環境側面並びに法的要求事項等から環境目的及び環境目標を定め、定期的に見直すことにより、継続的に環境保全活動の質の向上を図る。
  - 4.環境教育により社員及び当社のために働くすべての人の環境保全活動に対する理解と、環境に関する意識向上を図る。
  - 5.環境保全などの活動に地域社会の一員として積極的に参加すると共に社員及び当社のために働くすべての人の参加を推奨し、支援する。
  - 6.この環境方針を実行し、維持すると共に社員及び当社のために働くすべての人に周知させる。また、外部からの要求に応じ随時提供できるものとする。

## 体制

私たちは「環境管理総括責任者」(社長)をトップとした体制を構築し、環境負荷軽減に向けた取り組みを推進しています。

会社全体としては、「環境管理総括者」(担当役員)を議長とする「環境管理会議」を毎年開催しています。3ヶ年活動実施計画の策定及び評価を行い、運用状況をチェックすることによって、環境負荷軽減に向けた仕組みが効果的に機能している事を確認しています。

また横浜と厚木の両事業部は、「環境管理責任者」(事業部長)を議長とする「環境管理委員会」を毎年3ヶ月毎に開催しています。年間活動実施計画の策定及び評価、法令遵守状況の監視等を行う事によって、地区における環境保全活動を推進し、環境負荷の軽減に取り組んでいます。





取締役(環境管理総括者)

松本 真人

環境管理総括者から一言ご挨拶申し上げます。

ステークホルダーの皆様のご期待に応え、社会との共生を図る企業として永続すべく、日本飛行機は経営理念のもとに「行動規範」を制定し、コーポレートガバナンス、コンプライアンスの徹底と共に、CSR(企業の社会的責任)への取り組みを推進しております。

環境保全においても、昨年度新たに「環境方針」を制定し、「持続発展可能な社会の構築に向けて、地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する」という基本理念の下、資源・エネルギーの有効利用、事業活動における環境負荷の軽減、廃棄物発生の抑制等を図り、企業活動と環境の調和に継続的に努めております。そして、この素晴らしい地球環境を未来の人々に引き継いでいきたいと願っています。

ここに当社の活動内容をまとめた「環境・社会報告書2013」を作成致しました。

是非ご一読頂き、当社の活動にご理解を頂くと共に、皆様からの忌憚のないご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

## 活動の状況

### 地域社会との関わり

各地域における工場周辺の環境美化を目的に、清掃活動として工場周辺・一般道やその周辺のゴミ拾いを実施しました。

近隣地域の清掃や災害避難訓練等をする事により、地域社会への貢献と、改めて“分別・削減・マナーの向上”について従業員一人ひとりが自覚し、身の回りから地球環境への意識向上に心掛けております。

#### 工場周辺の清掃活動



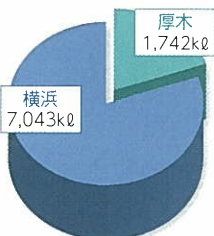
#### 近隣保育園と避難訓練実施



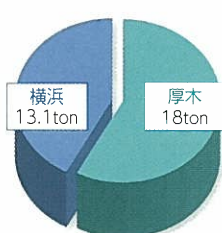
## 事業活動による環境負荷

### インプット

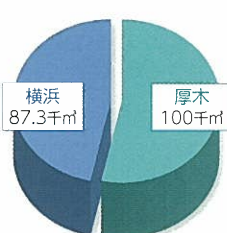
エネルギー(原油換算)  
8,785kℓ



PRTR届出対象物質  
31.1ton



水質資源  
187.3千㎡



### アウトプット

		横浜地区	厚木地区
大気放出	CO <sub>2</sub>	13,385 ton	3,030 ton
	PRTR届出対象物質	6.6 ton	13 ton
廃棄物	一般廃棄物	30 ton	72 ton
	産業廃棄物	587 ton	211 ton
	特別管理産業廃棄物	235 ton	1 ton未満
水系排出	下水	47.2千㎡	24 千㎡
	河川等	25.2千㎡	75 千㎡
	COD *1	1 ton未満	1 ton未満
	BOD *2	— ton	1 ton未満

\*1 化学的酸素要求量 \*2 生物化学的酸素要求量

# 地区別活動報告

## 横浜地区 (本社、航空宇宙機器事業部)



【所在地】神奈川県横浜市金沢区昭和町3175  
 【土地面積】151,575㎡  
 【事業内容】航空機部分品、標的システム、ロケット部分品、宇宙機器の製造

### ●主な環境活動内容

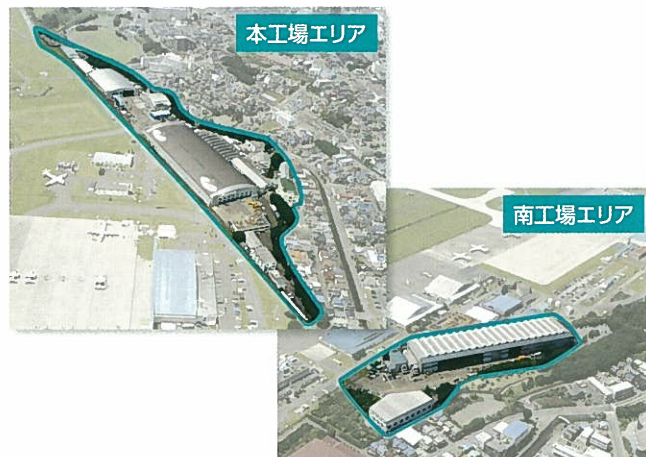
実施項目	目標	実績
エネルギー原単位の削減	0.2389kℓ/百万円 平成23年度比 1%の減	0.256kℓ/百万円 平成23年度比 12%の減
一般廃棄物の削減	2009年より運用管理に移行済み	
汚染防止のための設備更新	5件	実施4件

※エネルギーの原単位：(電気、燃料などのエネルギー総量) / 売上高

全社的に活動内容を評価しますと、3ヶ年計画内では目標を達成しました。

年度ごとに見ると、未達成項目がありますが、関係部署毎にデータの集計を把握する協力を推進し、今後も継続的に改善を推進していきます。

## 厚木地区 (航空整備事業部)



【所在地】神奈川県大和市草柳2-28  
 【土地面積】67,918㎡  
 【事業内容】航空機の修理、整備及び改造

### ●主な環境活動内容

実施項目	目標	実績
エネルギー原単位の削減	0.218kℓ/百万円 平成23年度比 1%の減	0.208kℓ/百万円 平成23年度比 10%の減
一般廃棄物の削減	20012年より運用管理に移行済み	
汚染防止のための設備更新	3件	実施2件

## 環境活動

社用車にハイブリット車の導入  
 (TOYOTA AQUA)



#120工場水銀灯型LED照明試験設置  
 消費電力約64%削減

外灯のLED照明への更新及び配置／容量の見直し  
 消費電力約85%削減



### 関連業界や地域からの情報、苦情及び法令遵守状況

2012年4月～2013年3月の期間中で、法令違反、行政処分、苦情等はありませんでした。今後も法令を遵守し、地域環境に配慮した事業活動を推進します。

この印刷物は、日本飛行機株式会社が印刷プロセスで使用する2.4kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、

**CO<sub>2</sub>排出量24.45kg削減しました。**

当CO<sub>2</sub>削減認証は株式会社日本スマートエナジー社がこの印刷システムを厳格・公正に審査・確認して与えられたものです。

43.64kgのCO<sub>2</sub>削減量とは

樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の本約1.75本分が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に匹敵します。(出典 林業白書)



高さ 22m  
直径 26cm  
1.75



本報告書の印刷・製本に要した消費電力4.36kwhは、すべて風力発電によるクリーン電力でまかっています。



日本飛行機株式会社

〒236-8540 神奈川県横浜市金沢区昭和町3175  
 TEL : 045-773-5100 FAX : 045-773-5102

<http://www.nippi.co.jp>

※本書の内容は弊社のホームページでもご覧頂けます。

日本飛行機株式会社は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しております。

本書掲載データは、2012年4月～2013年3月を対象としています。